

新医学系指针对応「情報公開文書」フォーム

単施設研究用

以下、本文-----

手術室受け持ち看護師が実施する子どもへの周術期プレパレーションの開発に関する研究

1. 研究の対象

2019年5月～12月の間に当院で2泊3日の入院過程（停留精巣、斜視、鼠径ヘルニア、臍ヘルニア）で手術を受けられた方

2. 研究目的・方法・研究期間

目的

研究目的は、手術を受ける子どもに対する手術室受け持ち看護師による周術期プレパレーションを開発することを目的とする。

意義

研究の意義は、手術室受け持ち看護師が手術前プレパレーションからの周術期看護を一貫して行うという周術期プレパレーション開発することで、手術を受ける子どもが、手術に対しての心理的準備を行うことができ、不安や恐怖といったストレスを軽減した上で、手術に臨むことができる。また、不安や恐怖といったストレスを軽減することによって子どもの対処能力を引き出すことができる。さらに、効果を検証した汎用性のあるプレパレーションを開発することで手術室看護師が子どもに対し一貫したプレパレーションを提供できる。

方法

1) 周術期プレパレーションの作成

文献検討より、プレパレーションツール、説明内容、説明方法を検討し、周術期の子どもに対するプレパレーション案を作成する。周術期プレパレーションの内容は、周術期に子どもが体験する一連の流れを説明するものとする。また、パンフレットに子どもの頑張りを可視化できるチェックボックスや、術後に渡すことのできる賞状を織り込む。さらに麻酔マスクや心電図シールといった実際のモデルを用いる。実施するプレパレーションの妥当性確保のため、小児看護専門家会議にてスーパーバイズを受け、プレパレーションツール（別紙1）と方法を決定した。

2) 周術期プレパレーションの実施

(1) 調査手順

対象者を時期別に4群に分け、実施する。対照群は、従来のツールを用いたプレパレーションを行い、介入群は作成したツールを用いてプレパレーションを行う。各群において、術前訪問時のプレパレーション担当者と手術室受け持ち看護師が同一の群をA、同

一でない群をBとする。方法としては、各群共通して、手術前日に術前訪問し、プレパレーションを行い、手術当日は、手術室受け持ち看護師が病棟へ子どもを迎えに行き、手術室へ移送し、手術室では、手術ベッドへの移動や麻酔導入時に受け持ちとして関わり、手術後麻酔回復室で麻酔覚醒から退出まで関わり、翌朝術後訪問を行うこととする。

3) 周術期プレパレーションの評価

周術期プレパレーションの評価には、鼻部表面温度、バイタルサインズ、Modified Yale Preoperative Anxiety Scale-Short Form (訳, 三宅) (以下、mYPAS-SF とする) (別紙2) を用いる。鼻部表面温度は、赤外線サーモグラフィカメラにて測定し、測定時期は、術前訪問 (プレパレーション) 時、お迎え時、手術室入室時、麻酔導入時、麻酔回復室入室時、術後訪問時とする。mYPAS-SF は子どもの術前不安のレベルを評価するために開発された、行動アセスメントによる評価尺度であり、子どもの行動を4つの項目 (活動、発声、感情表現、覚醒状態) で評価する。測定時期はお迎え時、麻酔導入時の2つの時点にて行う。バイタルサインズ (体温、心拍数、血圧) は診療録より数値を得る。測定時期は入院時、お迎え時、麻酔導入時、麻酔回復室入室時、退院前である。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：生年月日・病歴・術式・バイタルサインズ・鼻部表面温度・術前不安行動評価等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

あいち小児保健医療総合センター

部署名 手術・中材

研究責任者 田尻 涼太

〒474-8710 愛知県大府市森岡町七丁目 426 番地

電話 0562-43-0500 (代表) FAX 0562-43-0513

公開日 2019 年 3 月 26 日

-----以上